

**公益財団法人 立石科学技術振興財団**  
**2023年度 後期国際交流助成公募のご案内**

公益財団法人 立石科学技術振興財団においては、下記のとおり2023年度の後期国際交流助成の候補を募集することをお知らせいたします。詳細については当財団ウェブサイトの募集要項をご覧ください。

--- 記 ---

**1. 助成対象**

エレクトロニクスおよび情報工学の分野で、人間と機械の調和を促進するための研究活動を行なう研究者の海外派遣、特に国際会議での論文発表および短期在外研究のための海外派遣に対し、応募者本人に助成します。

「人間と機械の調和を促進する」とは、人間重視の視点に立った科学技術の健全な発展に寄与したい、という願いからきているものです。上記の範囲で、科学技術を人間にとって最適なものとするための、若手研究者による萌芽的な基礎研究活動の一環としての国際交流を歓迎します。ことに、渡航経験の少ない若手からの応募を期待します。

**2. 助成金額および件数**

国際交流助成金	国際会議発表	1件 60万円(注1)以下	} 合計10件程度
	短期在外研究	1件 100万円(注1)以下	

国際会議発表では、国際会議参加のための費用を助成対象とします。

短期在外研究では、30日以上90日以下の滞在と渡航を助成対象とします。

またその期間内の同一渡航先での国際会議参加のための費用を含むことも可能です。

注1: 記載金額は直接経費の上限です。本助成では、直接経費に加え所属機関の規程に定められた間接経費(管理費)を申請することが可能です。詳細はウェブサイトをご確認ください。

注2: 日本国内から、オンライン開催の国際会議に参加するために必要な費用も助成対象とします。

**3. 応募資格**

(1) 日本国内に居住する40歳以下(申請日の満年齢)の研究者とし、国籍・所属機関を問いません。研究者とは、助成期間に研究機関に所属し研究に従事する者、もしくは博士後期課程(または相当)に在学する者。

(2) 短期在外研究では(1)に加えて、5年以上日本国内に居住する研究者であること。

(3) 同一または重複内容で、既に他財団や公的機関からの助成や補助金を受けていないこと。

または、受ける予定のないこと。

**4. 募集期間と助成対象期間**

募集期間 : 2023年 4月1日～2023年6月30日(承諾書郵送は最終日の消印有効)

助成対象期間 : 2023年10月1日～2024年3月31日(日本出発日)

**5. 助成金交付時期**

助成金交付時期: 2023年10月の予定

助成金受取方法: 所属機関の事務経理部門にて収支の管理が可能な受取り方を原則とします。

**6. 応募方法**

募集要項、申請書類の入手や申請方法については、当財団ウェブサイトの国際交流助成(後期)公募案内をご確認ください。

立石科学技術振興財団ウェブサイト <https://www.tateisi-f.org/>

国際交流助成(後期)公募のページ [https://www.tateisi-f.org/research/i\\_exch/index2.html](https://www.tateisi-f.org/research/i_exch/index2.html)

**7. 問合せ先**

公募内容や応募方法についての不明点は、当財団事務局まで電話または電子メールにてお問合せください。